

防災情報の理解向上の取組

- 洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域など、水害や土砂災害などに関する災害リスク情報をハザードマップポータルサイトから一元的に提供。
- 浸水想定区域図の作成が義務付けられていない小規模河川についても、氾濫により浸水が想定される範囲等を簡易に推定する手法を検討するため、「中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会」を開催し、検討結果を「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」としてとりまとめ。

ハザードマップポータルサイト (重ねるハザードマップ)

防災に役立つ様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力
例：茨城県つくば市北郷1丁目

表示する情報を選ぶ

ピクトグラムから選択

- 洪水(想定最大規模)
- 洪水(計画規模)はこちら
- 津波
- 土砂災害
- 道路防災情報

表示する情報を
選択

※掲載データに関する留意事項

洪水浸水想定区域

土砂災害警戒区域等

津波浸水想定

道路防災情報

洪水浸水想定区域+道路防災情報

小規模河川の氾濫推定図

<背景・課題>

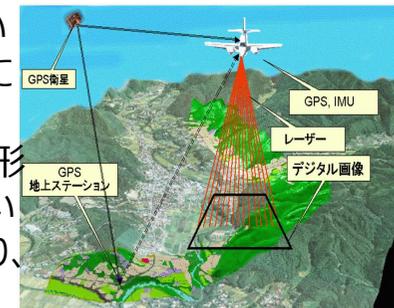
- 令和元年東日本台風では、浸水想定区域図の作成が義務付けられていない小規模河川の氾濫により浸水被害が発生。洪水予報河川や水位周知河川以外の河川の氾濫により浸水被害が発生しているエリア



凡例
×：人的被害箇所

<手引きの概要>

- 航空レーザー測量データを用いて、河道及び氾濫原を概略的に測量
- 「流下型」「貯留型」の氾濫形態については、破堤を考慮しない簡易な氾濫解析を行うことにより、計算の負担を軽減。



準備・理解 河川に関する用語集の充実

- 国土交通省が運営する「川の防災情報」においてよく使う用語の解説を掲載。
- 多方面から検索出来るようにすることやイラストなどを用いて用語の意味を理解しやすくするなどの改良を検討。

Q&A・お問い合わせ

このサイトは、提供しているシステムについてのQ&A・XRAINご利用上の注意・よく使う用語の説明・お問い合わせの窓口です。
「Q&A」や「よく使う用語の説明」をご参照の上、さらに詳しくお知り合い場合は「解説」をご参照ください。

Q&A(よくあるご質問)

「Q&A(よくあるご質問)」をクリックすると、全ての「Q&A」が表示されます。
以下の分類から調べたい項目をクリックすると、その項目の「Q&A」が表示されます。

分類

(1)川の水位・川の断面図	(5)流域の雨量	(9)雲
(2)河川の予警報	(6)ダム	(10)観測所
(3)洪水想定区域図	(7)水質	(11)その他
(4)カメラ画像	(8)海岸	

XRAINご利用上の注意

「XRAINご利用上の注意」をクリックすると、「XRAINご利用上の注意」が表示されます。
XRAINの閲覧・活用にあたっては、「XRAINご利用上の注意」をご参照下さい。

よく使う用語の説明

「よく使う用語の説明」をクリックすると、全ての「よく使う用語の説明」が表示されます。
以下の分類から調べたい項目をクリックすると、その項目の用語が表示されます。

分類

(1)河川予警報	(4)水質	(7)その他
(2)雨量・レーダ雨量	(5)海岸	
(3)ダム	(6)積雪	

調べたい用語の頭文字(用語が日本語の場合はカタカナ、アルファベットの場合はアルファベット)をクリックすると、その用語の説明が表示されます。



Q&A・お問い合わせ ～「よく使う用語の説明」～

調べたい用語をクリックすると、用語の説明が表示されます。

(1)河川予警報

用語

水系 河川管理者 流域 右岸・左岸 支流の決壊(破堤) 浸透 浸水 冠水 洪水 水位
 河川予警報(洪水予警報) 洪水予報 水位周知河川(水位情報周知河川) 水防警報河川(水防警報指定河川) 基準観測所
 はん濫危険水位(危険水位) 避難判断水位(特別警戒水位) はん濫注意水位(警戒水位)
 水防団待機水位(通報水位) 警戒水位 はん濫発生情報 はん濫危険情報 はん濫警戒情報 はん濫注意情報(洪水注意報)
 水位周知河川情報 水防警報 待機 準備 出動 水防団 ダム放流通知・ダム放流通知文 浸水想定区域図
 洪水ハザードマップ

(2)雨量・レーダ雨量

用語

雨量 時間雨量 10分雨量 30分雨量 60分雨量 累加雨量 レーダ雨量 レーダ雨量計 0.5mドレーダ雨量計
 1.5mドレーダ雨量計 3.0mドレーダ雨量計 XRAIN レーダ履歴 観測動画

(3)ダム

用語

ダム ダム誌 洪水調節 異常洪水時防災操作(たふし書き操作) 洪水時最高水位(サーチャージ水位)
 平常時最高貯水位(常時満水位) 洪水貯留準備水位(洪水期制限水位) 予備放流水位 最低水位
 異常洪水時防災操作開始水位 貯水池の容量 全流入量 全放流量 計画最大放流量 洪水調節開始流量
 貯水位 貯水量 貯水率

(4)水質

用語

水質 水温 pH DO 導電率 濁度 アンモニアイオン 塩分濃度 塩化物イオン COD

(5)海岸

用語

沿岸名 海岸名 波高 周期 最大波 1/3有義波 潮位 風向 平均風速

(6)積雪

用語

積雪 積雪深

(7)その他

用語

観測所 水位観測所 雨量観測所 水質観測所 海岸観測所 積雪観測所 観測時刻 観測データ 観測所の位置
 テレメータ リアルタイムデータ 雨量計 水位計 欠測 閉局 基準値 基準値超過

41	右岸、左岸	ウガン・サガン	河川を上流から下流に向かって(流れに沿って)眺めたときの右側を「右岸」、左側を「左岸」と呼びます。 「洪水等」に関する防災情報体系の見直し実施要綱に基づき、平成19年4月からは、防災用語としては「〇〇市側」のように表現しています。
----	-------	---------	--

準備・理解 マイ・タイムライン(ワークショップ、説明会等)

- マイ・タイムライン（洪水のような進行型災害が発生した際に、「いつ」、「何をするのか」を整理した個人の防災計画）の検討ツールの共有等とともに、自治体職員向けにワークショップ開催に向けた研修会や住民向けに気象キャスター等による講話を交えた説明会等を実施。
- マイ・タイムラインの取組が更に拡大するよう、「マイ・タイムライン実践ポイントブック検討会」を設置し、マイ・タイムラインの普及拡大のためのポイントブックを作成（令和2年6月公表予定）。

<取組実績> (令和元年12月1日時点)

地整	事務所名	対象市町村
81	帯広開発建設部	北海道音更町
82	湯沢河川国道事務所	秋田県横手市
82	北上河川国道事務所	宮城県涌谷町
84	信濃河川事務所	新潟県小千谷市
84	千曲河川事務所	長野県長野市



<マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」>



<マイ・タイムライン実践ポイントブック>

- マイ・タイムライン検討の取組では、住民が洪水ハザードマップの記載内容を理解し、水害リスクを「我がこと化」することにより、自らの避難行動を促すことが必要であり、地域防災力を向上するため、行政と住民とのリスクコミュニケーションの機会を創出するワークショップ形式による検討が望ましいことから、「マイ・タイムライン実践ポイントブック」は、以下の3つで構成する。

マイ・タイムラインガイド 【Ver1】	水防災に従事する職員等がマイ・タイムラインについて詳しく学ぶための作成したもの
ワークショップ虎の巻	水防災に従事する職員等が主体となり、ワークショップを実施できるよう、事例を参考に、手順、事前準備、資料等を取りまとめたもの
マイ・タイムライン かんたん検討ガイド	マイ・タイムラインを広める人が、マイ・タイムラインがどういうものか周知する際に使用するカタログをイメージして作成したもの

準備・理解 防災教育の支援

- 災害リスクや防災情報を正しく理解し、災害時に適切に避難できる能力を養うためには、子どもの頃からの防災教育も重要であることから、学校や家庭における防災教育を支援。
- 具体的には、洪水や土砂災害から身を守るため、子どもたちが自ら避難行動について考えるきっかけを与えることを目的とした動画やカードゲームなどの素材をポータルサイトを通じて提供。

防災教育ポータル

防災教育に役立つ教材や事例を紹介

トピックス
最新の取組

教材
すぐに使える教材パッケージ

素材
伝わりやすい写真やイラスト等

手引き
これから防災教育を始める際の進め方

事例
学年別・分野別の防災教育の事例

リンク
防災教育に役立つリンク集

(素材例1) 子ども向け動画



小学生向け動画「小学5年生理科 流れる水の働きと土地の変化」



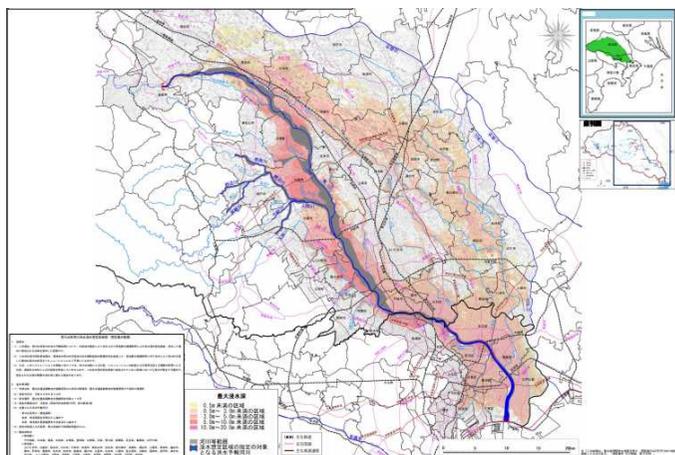
動画「水防団の神様～山からのお知らせ～」

(素材例2) 防災カードゲーム



防災カードゲーム「このつきなごおきるかな？」 ※左：水害編、右：土砂災害編

- AI、5Gなどの情報通信技術が著しく進展する中、VR技術等を活用して身近な河川等の災害リスクをわかりやすく伝えるための技術開発を推進し、住民ひとりひとりの事前の災害への備えを支援。



2次元図面での浸水リスクの表示

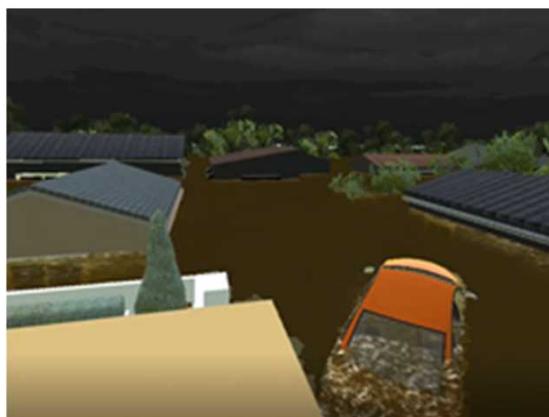
- 3D氾濫シミュレーション動画の作成（荒川流域の事例）



- VR技術を活用した河川氾濫の疑似体験アプリの開発



VRゴーグル



- 小学生を対象に、V R 技術を活用した浸水被害の疑似体験などを通じて、自治体と共に水災害に対する防災教育を実施。

■ 多治見市立小学校におけるVRを活用した防災教育の事例（平成28年11月8日）



河川事務所職員による水害リスク等の解説



体験に使用したV R 技術※

※VRscope®(凸版印刷株式会社)



屋上から市内の浸水状況を疑似体験



体験に使用したVR画像

発信 大雨特別警報の切替後の氾濫に対する注意喚起

- 大雨特別警報の「解除」を安心情報と捉えた住民が自宅に戻った後に、上流部で降った雨が下流部に流下し、時間がたってから氾濫が発生。大雨の後に時間差で発生する氾濫への注意喚起が必要。
- 大雨特別警報解除後の氾濫への警戒を促すため、大雨特別警報の解除を警報への切替と表現するとともに、警報への切替に合わせて、今後の水位上昇の見込みなどの河川氾濫に関する情報を発表。
- メディア等を通じた住民への適切な注意喚起を図るため、予め本省庁等の合同記者会見等による周知を図るとともに、SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説等、あらゆる手段で注意喚起を実施。
- 「引き続き、避難が必要とされる警戒レベル4相当が継続。なお、特別警報は警報に切り替え」と伝えるなど、どの警戒レベルに相当する状況が分かりやすく解説

大雨特別警報の切替に合わせて河川氾濫に関する情報を発表

今後の水位上昇の見込みなどの河川氾濫に関する情報を発表し、引き続き警戒が必要であること、大川川においてはこれから危険が高まることを注意喚起。

久慈川洪水予報(臨時)
令和〇年〇月〇日〇時〇分
国土交通省 常陸河川国道事務所
気象庁 水戸地方気象台

「茨城県の大雨は峠を越えたが、河川の増水、氾濫はこれから」

イメージ

茨城県の大雨は峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替わりますが、久慈川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

久慈川 久慈川 富岡 水位観測所(茨城県常陸大宮市) 区間において氾濫が発生。富岡 水位観測所(茨城県常陸大宮市) では、水位が上昇中であり、引き続き、水位が高い状況が継続する見込みです。

久慈川 久慈川 桐橋 水位観測所(茨城県日立市) では、水位が上昇中であり、まもなく最高水位に到達する見込み。氾濫のおそれあり。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
久慈川	富岡 (茨城県常陸大宮市)	氾濫発生中	水位上昇中
久慈川	桐橋 (茨城県日立市)	氾濫危険水位超過	水位上昇中。まもなく最高水位

メディア等を通じて住民へ適切に注意喚起

メディア等を通じた住民への適切な注意喚起を図るため、予め本省庁等の合同記者会見等による周知を図るとともに、SNS・気象情報等あらゆる手段で注意喚起を実施。

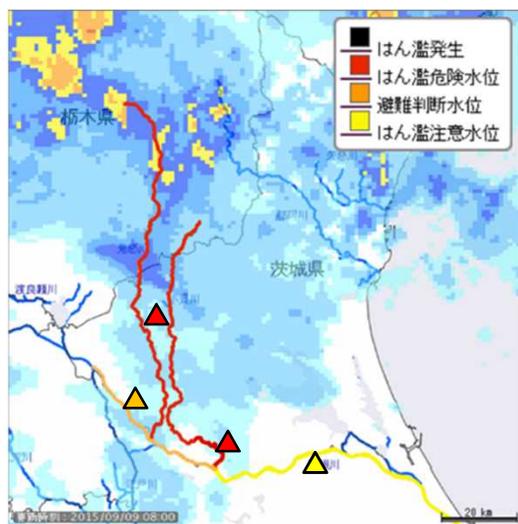


発信 水害リスクライン

- 観測所地点の水位から上下流連続的な水位をリアルタイムで計算し、堤防の高さと比較することで地先毎の洪水危険度を把握・表示する「水害リスクライン」により、災害の切迫感をわかりやすく伝える。
- 危機管理型水位計により増設された多地点の実測の水位データを、水位計算にリアルタイムに反映させることで、より精度の高い縦断的な水位を算出。

現行の洪水予報・危険度の表示

基準観測所の水位で代表して、一連区間の危険度を表示



水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示



- 令和元年6月19日から10水系において市町村等向けに提供開始。
- 令和元年9月11日から一般向けの提供サイトの運用を開始し、対象水系を50水系に拡大。
- 令和2年3月末時点で国が管理する全109水系で提供中。

発信 簡易型河川監視カメラによる画像提供

- 2020年2月から簡易型河川監視カメラの画像提供開始。従来のカメラ（CCTVカメラ）約3,100台に加えて、簡易型河川監視カメラ約2,400台のカメラ画像を提供中（6月現在）。
- スマホの位置情報をもとに近隣の河川の状況をリアリティーのある画像で伝えることで、住民の適切な避難判断を促す。

【特徴】

屋外に容易に設置

- 無線式の場合は電源・通信ケーブルの確保不要（無線通信、太陽電池等を利用）

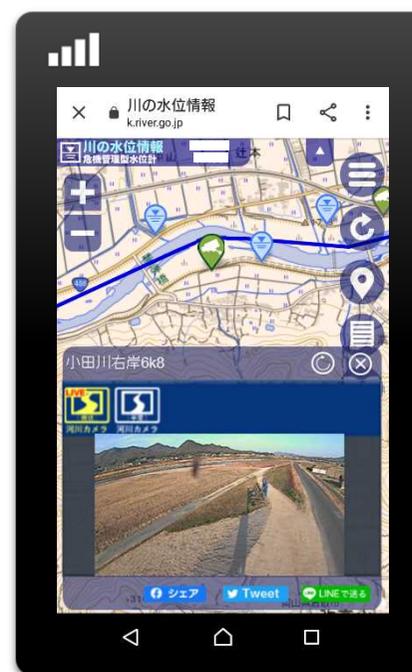
機能を限定しコストを低減

- ズームや首振り機能は削除
- 機器本体価格は、30万円/台程度

インターネットを経由して画像を収集

- 水位計のデータ等と併せて提供

【配信イメージ】



(昼間)



(夜間)

現在位置機能により、身近な河川の水位情報を把握可能



(全景)



(カメラ部)

「川の水位情報」

<https://k.river.go.jp>



- 氾濫発生情報（警戒レベル5相当）、氾濫危険情報（警戒レベル4相当）の発表とあわせて、緊急速報メールにより、プッシュ型で地域に伝達。
- 令和元年東日本台風後の検証を経て、より分かりやすく簡易な文案に改善。

従来

レベル4相当 氾濫危険情報

河川氾濫のおそれ
●2019/10/12 17:00
警戒レベル4相当

こちらは国土交通省関東地方整備局です

内容：多摩川の田園調布（大田区）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる氾濫危険水位に到達しました

行動要請：防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください

本通知は、浸水のおそれのある市区町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります
(国土交通省)

レベル5相当 氾濫発生情報

河川氾濫発生
警戒レベル5相当

こちらは国土交通省関東地方整備局です

内容：越辺川の東松山市正代地先、川越市平塚新田地先で堤防が壊れ、河川の水が溢れ出ています

行動要請：防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、命を守るための適切な防災行動をとってください

本通知は、浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります
(国土交通省)

課題

- ・他の緊急速報メールと比べ文章が長い（文字が多いと読まない）
- ・直接的な情報を有していない文は不要
- ・発信者は最後、重要な情報から先にすべき
- ・状況が伝わらない、“氾濫危険水位”の意味もわからない人も多いと思われる
- ・自治体が配信する避難勧告のメールとの違いを明確にすべき

改善案

文章を簡潔にするとともに、重要な情報から順に記載

【警戒レベル4相当】
氾濫のおそれ

警戒レベル4相当

多摩川で氾濫のおそれ

田園調布（大田区）付近で河川の水位が上昇、氾濫が発生する危険があります

自治体からの情報を確認し、安全確保を図るなど速やかに適切な防災行動をとってください。今後、氾濫が発生すると、避難が困難になります

（国土交通省）

【警戒レベル5相当】
氾濫発生

警戒レベル5相当

越辺川で氾濫が発生

東松山市正代地先（西側）、川越市平塚新田地先（南東側）で堤防が壊れ、河川の水が住宅地などに押し寄せています

命を守るための適切な防災行動をとってください

（国土交通省）

改善イメージ

発信 SNS等による防災情報の発信

- 各事務所の公式ツイッターアカウントから、水害・土砂災害に関する注意喚起や早めの避難、河川水位に応じた注意喚起など河川の状況に応じた情報発信を実施。
- 令和元年9月3日には、「川の水位情報」サイトにSNS投稿ボタンを追加し、水位グラフやカメラ画像を投稿を可能にした。



河川情報の
入手先について
情報発信



大雨に伴う洪水への
注意喚起



【シェアできる情報】
河川横断図（水位観測所地点）
水位観測所の水位グラフ
CCTVカメラ（静止画）



SNSのシェアボタンを追加

発信 メディア連携協議会による現地視察

- 報道関係者や気象キャスター等を対象に、普段は目にする機会の少ない河川管理施設等の見学会を開催。水系全体の治水事業の変遷や、過去の水害における治水施設の効果などを紹介。
- 過去の出水等における河川水位、映像等を現地で確認することにより、防災情報と地域や施設の状況、水害の危険度の関係を実感することができた。



平成30年7月豪雨における桂川の増水状況等の確認



平成30年9月台風21号での高潮による淀川の増水や防潮堤の状況等を確認

伝達 河川状況の動画配信(YouTube)

- 国土交通省の公式YouTubeアカウントによりライブ動画を配信。
- YouTubeで動画を配信することで各河川の切迫した洪水映像等をリアルタイムで配信し、住民の適切な避難判断を促す。



筑後川・国土交通省九州地方整備局水災害予報センター・筑後川河川事務所

筑後川水系筑後川76K500右岸カメラ



大分県日田市中ノ島町 日田 ライブ



【試験配信中】九州地方整備局 筑後川映像 【Live動画】

YouTubeによる河川ライブ映像配信

整備局名	対象河川	カメラ数	配信開始日
北海道開発局	13水系14河川 (天塩川水系天塩川他)	14	令和元年 8月16日
近畿地方整備局	9水系15河川 (由良川水系由良川他)	16	令和元年 6月17日
中国地方整備局	2水系4河川 (高梁川水系高梁川他)	4	令和元年 7月31日
四国地方整備局	1水系2河川 (肱川水系)	4	令和元年 10月31日
九州地方整備局	20水系74河川	310	令和2年 6月5日

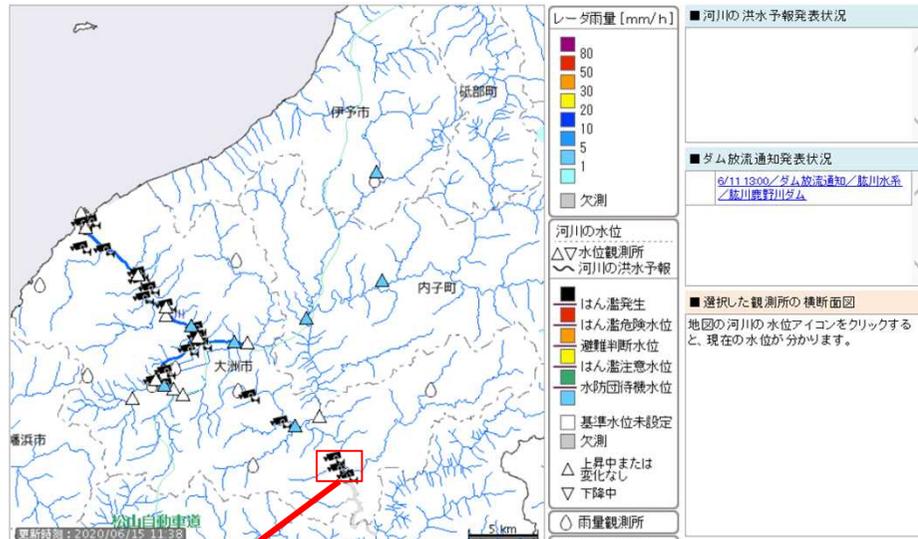
現在配信中のYouTubeサイト

北海道開発局 近畿地方整備局 中国地方整備局
 【高梁川】 【太田川】 四国地方整備局 九州地方整備局



伝達 ダムの河川監視カメラの活用

■ 国土交通省が提供している「川の防災情報」や事務所のウェブサイトを通じ、ライブカメラの画像を提供することで、ダムの貯水状況や放流状況を提供。



『川の防災情報』を通じた提供事例

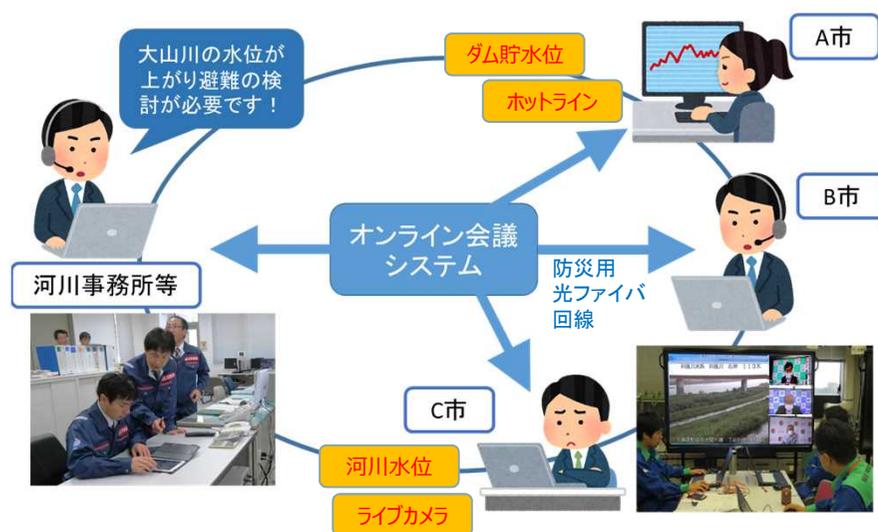


事務所のウェブサイトを通じた提供事例

伝達 オンライン会議による流域市町村とのTVホットライン

- オンライン会議を活用し、河川管理者や市町村等の流域関係者全員で河川やダム状況を確認しながら、災害の危険を共有。
- 河川ライブカメラ映像や地図、イラストなどを用いて、河川の状況や災害の危険を分かりやすく伝達することができ、また、コロナ禍におけるリエゾン派遣等が限られる状況での情報共有も可能。

TVホットライン



- ・河川事務所と流域の市町村を接続する、**防災用の専用光ファイバ回線**を用いた**オンライン会議**を開催。
- ・個別に電話で行う従来のホットラインと比べ、流域内の**複数の市町村へ同時に連絡**ができ、**ライブカメラ、資料**を用いて河川状況を共有することが可能。

TVホットラインによる洪水対応演習例

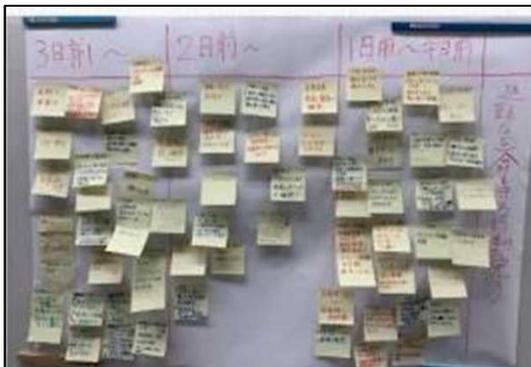


- ・本年5月に、河川事務所と流域の市町村をオンライン会議で接続し、**河川の状況の伝達、ライブカメラ映像の確認**等を行う演習を実施。

- NHKアナウンス室では「地域版 命を守る呼びかけプロジェクト」を全国42局で展開中。
- 全国のアナウンサーが地域の過去の災害を取材の上、地元の住民と座談会やワークショップを開催し、避難行動につながる生の意見を収集する。教訓を含めて具体的に伝え、より迅速な避難行動につなげる。



鳥取放送局では、防災や土木工学の専門家などと綿密に連携を取り、勉強会や意見交換会を開催。また行政の担当者ともパイプを作り、いざという時に連携を取れる体制づくりを構築。



大津放送局では、京都大学防災研究所などと連携。地元防災士へのアンケート、ワークショップなどを通じて、「タイムライン」を取り入れた呼びかけ文を作成。

岡山放送局・河川カメラ資料例

小田川 杉森樋門(すぎもりひもん)カメラ
(国管理・倉敷市真備町)

◆最寄りの水位計⇒倉敷市真備町箭田地先(やたじさき)
※危機管理型水位計(国管理ではデータ蓄積により氾濫危険水位を設定しているが、危機管理型はデータが少ないため暫定での基準によって「危険水位」を設定。言う時は区別する。)

岡山県倉敷市真備町箭田 杉森樋門

【コメント例】

◆どこカメラ? どういう地域?

- 倉敷市真備町(まび町)の小田川(おだがわ)です。
- 西日本豪雨で堤防が決壊した現場付近が見えています。
- 対岸に見えるコンクリートの護岸は、西日本豪雨でおよそ100メートル決壊し復旧工事が行われた箇所です。
- 画面奥が、西日本豪雨で大きな被害が出た真備町箭田(やた)地区です。
- 西日本豪雨で、真備町では広い範囲で5メートル以上浸水しました。これは、2階でも危険な深さです。

◆川の状況は? (そのまま読まないこと! 静止画なので流れはわからない)

- (水位) 普段は大きな中洲があり、草や石が見えていますが、今は一面濁流です。など
- (護岸) 対岸のコンクリートの護岸の、かなり上の方まで水がきています。

<★目安: 対岸の護岸が見えなくなれば氾濫危険水位を超えている>

◆水位計の情報は? (放送前に確認! そのまま読まないこと!)

- (水位) 近くの水位計では、氾濫の危険が高まっていることを示す「危険水位」を超えています。自治体の情報を確認し、避難してください。など
- (時間経過) この〇時間でおよそ〇m水位が上昇しています。など
- (周辺水位計) 小田川の支流の××川(高馬・末政・具谷)も、危険な水位を超えています。小田川の水位が高いと支流の水が流れにくくなる「バックウォーター現象」が起きるおそれがあります。 など

◆この地域への呼びかけ!

▼水位上昇のスピード	西日本豪雨で小田川の水位は、短時間で一気に上がりました。現在の状況だけで判断せず、逃げられなくなる前に避難してください。
▼浸水後は遅い	浸水が始まってからは命を守れません。30センチで車の避難はできなくなります。避難のタイミングを逃さないでください。
▼自分で判断しない	災害の大きさを自分で勝手に判断しないでください。どこに被害がおよぶかはわかりません。最善を尽くしてください。
▼5m浸水	西日本豪雨では、箭田地区をはじめ、広い範囲で5m以上浸水しました。2階以上に避難するだけでは安全でないというのが教訓です。家にとどまらず、川から離れた安全なところに逃げてください。
▼堤防は守ってくれない	西日本豪雨で、専門家は、堤防は守ってくれるものではなく、避難の時間をかせぐためのものだと言いました。堤防があるから大丈夫ではなく、早く川から離れた場所、川より高い場所へ避難してください。
▼サイトへの誘導	ごらんの河川カメラなどの情報は、「おやかま防災ポータル」というサイトの「川の水位情報」から見ることができます。

各局の天気カメラだけでなく、国や県の河川カメラの映像も活用し、平時からの変化や予兆にいち早く気づき、的確な呼びかけにつなげる。

【出典】NHKから提供して頂いた資料を基に国土交通省が作成 16

伝達 メディアを通じた情報発信(国土交通省職員による解説)

- 台風による氾濫への注意喚起や河川の今後の注意点について、国土交通省職員がカメラ取材、電話等を通じてメディアに出演し、解説する取り組みを昨年度より実施。
- 令和元年東日本台風においては、東北、関東、北陸地方整備局の職員によって、10月12日～16日の間で、テレビや電話出演による解説を計21回実施。



千曲川の堤防が決壊しており、大量の水が住宅地側に流れ混んでいる状況のため、非常に危険な状況です…

北陸地方整備局により河川状況の解説（令和元年10月13日 NHK「ニュース『台風19号』関連」（全国放送））



宮城県内、福島県内で非常に河川の水位が上がっており、極めて危険な状況です…

東北地方整備局により河川状況の解説（令和元年10月12日 NHK「ニュース『台風19号』関連」（全国放送））

伝達 地方整備局と気象台の合同記者会見

- 台風の接近前に、河川情報の入手方法や今後の気象の見込みなどについて説明する記者会見を、地方整備局と地方気象台の合同で開催。
- 令和元年東日本台風では、全国で5地方（東北、北陸、関東、中部及び近畿）において全11回の合同記者会見を開催し、注意喚起を実施。



中部地方整備局と静岡地方気象台の合同記者会見

命をまもる3つのポイント

水害・土砂災害から 命をまもる3つのポイント

①日頃から ②大雨の時 ③避難の時

「ハザードマップ」で 災害リスクを確認！
 「川の防災情報」で 川の状況をチェック！
 「逃げなきやコール」で 家族の避難を後押し！

特に留意してほしい事項

- ① 気象や河川情報、自治体からの避難情報等を注視し、早め早め、明るいうちの避難を心がける。
- ② 低い土地やアンダーパスは早くから浸水するため、車での移動に留意する。
- ③ 地下街や地下室は、浸水すると脱出困難な場合もある。
- ④ 浸水すると、道路と水路、側溝の境目が見えないため、注意する。
- ⑤ 避難所へ移動が困難な場合は、近くの高くて丈夫な建物へ避難する。家から出ることが困難な場合は、建物の2階以上へ移動、山と反対側の部屋に移動する。



関東地方整備局と東京管区気象台の合同記者会見

合同記者会見における注意喚起



令和元年10月12日(土) 16時30分 東京管区気象台・関東地方整備局河川部 共同会見

511 回視聴 · 8 か月前

6 0 共有 オフライン 保存

国土交通省 関東地方整備局... チャンネル登録
チャンネル登録者数 582人

コメント

公開コメントを入力...

合同記者会見のYouTube配信

- 「逃げなきゃコール」とは、離れた場所に暮らす高齢者等の家族に危険が差し迫った場合、家族が直接電話をかけて避難行動を呼びかける取組です。そのために、NHK、Yahoo!のスマートフォンアプリやauのSMS（ショートメッセージサービス）などの地域登録機能を活用し、プッシュ型で家族の住む場所の河川情報等入手。



判断・行動 SNS等を活用した住民・水防団等による防災情報の発信・共有

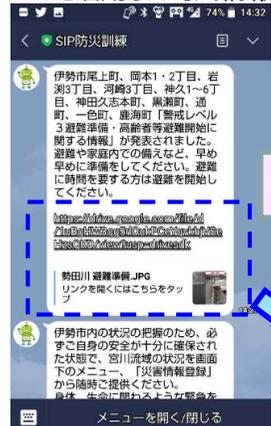
■ 情報を発信する行政とSNS・AI技術等を有する企業等が連携し、三重県伊勢市をフィールドにSNS等を活用した住民避難・水防活動支援等の現場実証を実施。

① 高齢者等の避難支援

AIアシスタントの音声応答機能により高齢者の避難行動を支援

■ SNSを活用した河川情報の提供

■ AI音声応答機能を活用した防災情報の入手



ねえ、クローバ
伊勢市の防災
情報についで！

家族への
避難呼びかけ



速やかに避難を始
めてください。

Clova
(AIアシスタント)

遠方の家族にも現地の状況が伝わるよう
河川CCTV画像も配信



勢田川では、避難判断水位
を超えており、現在も水位は
上昇しています。お住まいの
地区には、避難準備・高齢
者等避難開始が発令されて
います。

LINE版防災チャットボット
「SOCDA」を活用した
避難情報の提供

③ 円滑な水防活動支援

LINE等を活用して水防団へ河川情報を提供するとともに、水防団からの現地状況報告を国・県・市が同時に共有

■ 水防団等への河川情報の提供



危機管理型水位計

出水時に現場に河川情報を提供



危機管理型水位計の
河川横断図画像

訓練用

ワンクリックで
水位状況を瞬時に確認

② 防災チャットボットを活用した被害情報の収集・共有



災害状況要約システム(D-SUMM)により被害情報をカテゴリ別にリアルタイムに地図上にマッピング



収集した情報は災害対策本部・現場で同時共有

現地の被害情報等を地図上
で一元的に表示・共有